

平成 30 年度課題研究の成果を英語で発信するためのライティングワークショップ

1. 目的

- 研究成果を英語で正確に、端的に書く力を身に付ける(4年)
- 自身の研究について英語で論文を作成することで、英語論文のスタイルや書き方を身に付ける(4年希望者)
- 研究内容を英語のポスターにまとめ、それを他者に伝える発信力を育成する(5年)
- 研究内容について生徒同士で協議したり、外国人講師に研究について意見交換をしたりすることで、自身の研究をさらに深める視点を養う(5年)

2. 概要

ライティングワークショップは、4年生と5年生対象に実施され、4種類のワークショップから成る。

4年生は、自身の研究の要約、または論文のすべてを英語で書く。5年生は、シンガポール海外修学旅行の学校交流で、交流校の生徒に、研究内容を英語で紹介するポスターセッションに向けた準備を行う。

2.1 英語での Abstract(概要)作成

対象者:4年生全員

期間:平成 31 年 1 月 28 日(月)~2 月 26 日(火)

自身(または共同)で研究した内容について、英語で概要を作成する。原稿を作成したら、外国人講師にアポイントをとり、英文の指導を受ける。完成版を国際部に提出する。

2.2 英語論文作成

対象者:4年生希望者

期間:平成 31 年 3 月 8 日(金)~22 日(金)

研究した内容について、英語で論文を書きたい生徒は、外国人講師にアポイントをとり、論文のスタイルや表現について指導を受ける。

2.3 ポスター作成前ライティングワークショップ

対象者:5年生全員

期間:平成 30 年 11 月 5 日(月)~22 日(木)

4名でひとつのグループをつくり、4年次に研究したものの中から、SSH担当教員が代表研究候補を推薦した。本校の外国人講師が、その代表研究の内容について5つの質問

をするので、答えられるように準備をし、ワークショップに臨む。

【理系分野のグループ】

Q.1 Purpose Q.2 Hypothesis Q.3 Experiment

Q.4 Findings Q. 5 Discussion

【文系分野のグループ】

Q.1 Theme Q.2 Purpose / Reason(s) of research

Q.3 How Q.4 Findings Q. 5 Discussion

これらの質問に、用意してきた英語とその場で考えた英語を使って伝えることを通して、どのように伝えれば第三者にも理解してもらえるのかを外国人講師との対話の中で学ぶ。

2.4 ポスター作成後ライティングワークショップ

対象者:5年生全員

期間:平成 31 年 1 月 10 日(木)~25 日(金)

「情報と科学」の時間に作成したポスターを見せながら、外国人講師に発表する(本番を見据えたりハーサル)。

発表後、Q&Aの時間があり、外国人講師から発表について質問され、生徒は質問に答える。

Q&Aの後には、発表についてフィードバックを受け、発音や発表方法などについて助言を受ける。

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□



写真 講師よりフィードバックを受けている

3. 成果と課題

昨年度からポスター作成前のライティングワークショップ内容を多少変更した。原稿を添削してもらった以前のスタイルから、外国人講師との会話を通して表現や伝え方を学んでいくというスタイルに変更した。研究内容について基礎知識がない第三者にも理解してもらえるように表現や伝え方を工夫してもらったからである。

シンガポール海外修学旅行では交流校の生徒に意欲的に伝えようという姿勢が多く見受けられるようになった。